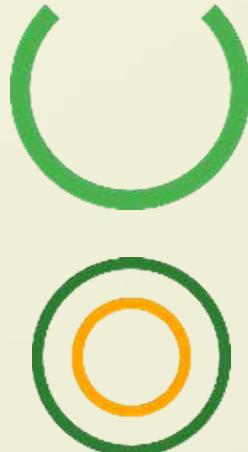




大崎町



大崎町におけるリユースの取り組みについて

リユースつなぐ未来

ごみを処理する時代から「利用」する社会の構築



2025年10月30日

リユースのイベントの背景と目的

捨てるのもったいない品 必要な人へ 大崎町が回収・譲渡事業、子育て世代と外国人対象

⌚ 2023/08/09 08:00



SDGs 大崎町

「もったいない」思いを必要な人へ。大崎町はリユース（再利用）品の回収・譲渡の実証事業に役場1階ロビーで初めて取り組んでいる。子育て世代と外国人が対象で、町環境政策課は「お盆の帰省時期を前に、おもちゃや服をごみにせず譲り受けたい人に届けられれば」としている。

同町ではこれまで、住民有志がシェアスペース・マルおおさきで「リユース市」を開催。外国人技能実習生の冬服不足解消などに役立ててきた。今回はごみ減量化に向けたリユース促進の一環。家庭で不要になった使える物を役場に持ち込み、必要な人が無償で自由に持ち帰ることができる。



リユース品のおもちゃを見る親子連れ
＝2日、大崎町役場1階ロビー

🔍 詳しく

なぜリユースが重要なのか？

● ごみ減量と埋立処分場の延命化

- ・「大崎システム」で埋立ごみを約85%削減
- ・4R Refuse: 断る, 買わない, 持ち込まない
Reduce: 減らす, 出さない, 作らない
Reuse: 使い続ける
Recycle: 再利用する を推進
- ・リユースは最も効果的なごみ抑制策

● 環境ビジョンとSDGsの推進

- ・「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」
- ・2019年：SDGs未来都市に選定
- ・『第三次大崎町総合計画』：資源循環を基本方針に
- ・SDGs目標12「つくる責任つかう責任」に直結

リユースのイベントの背景と目的



背景

- 大量生産・大量消費・大量廃棄の時代
- 町内では従来からリユース活動の基礎となるふれあいバザーやフリーマーケットを実施
- 2022年制定の町一般廃棄物処理基本計画において「ごみの減量化と資源化を推進」が明確に示される



目的

- 廃棄物の減量化、資源化のための再利用の意識向上と啓発
- リユースを通じて地域住民に物品再利用の機会を提供
- 資源の有効活用と環境負荷の低減に寄与

- 役場ロビーでの回収・譲渡会

- ・町民が気軽に参加できるリユースの場を提供
- ・メディア掲載で関心が拡大

•

- (休止中) リサイクルセンター「掘り出し物市」

- ・再使用可能な家具・家電を分別
- ・毎月第2月曜に格安販売、生活支援

•

- 地域活動の支援

- ・リサイクルバザーやフリマを後援
- ・町ぐるみでリユース文化を醸成

リユース市の実施概要

2023年12月



マルおおさき
初回開催

2024年8月



役場ロビー
第2回

定期的に開催

2025年1月



役場ロビー
第3回

2025年8月



役場ロビー
第4回

2025年12月-1月



役場ロビー
次回予定

■ 初回開催

2023年12月3日-4日（土・日）

📍 大崎三文字地区のマルおおさき



■ 第2回

2024年8月

📍 役場ロビー



■ 第3回

2025年1月

📍 役場ロビー



■ 第4回

2025年8月

📍 役場ロビー



★ 役場ロビーでの開催の効果



毎日多数の住民が来場



物品の交換頻度が高い



役場職員等の協力

町民への周知と物品収集方法

町民への周知活動



広報誌を活用

町の広報誌を通じてリユース市の開催情報やコンセプトを広めています



公式LINEを活用

定期的にリユース市に関する情報を配達し、住民に周知しています



対象グループ

特に子育て世代と外国人住民を対象に宣伝

物品収集方法

収集する物品の条件

- ☑ まだ使えるけど使わなくなった物品

収集手順

物品の準備

自宅で不要になったがまだ使用可能な物品を整理します

役場への持参

整理した物品を役場に持ち込みます

倉庫への預け置き

物品は一時的に倉庫に預け置かれ、リユース市で使用されます

- リユースの仕組み化と定着
 - 常設的な仕組みの検討、コミュニティの醸成
- サーキュラーエコノミーの推進
 - SDGs推進協議会を中心に「サーキュラー・ヴィレッジ」構想
 - 地域経済の循環を実現
- ゼロ・ウェイストの実現
 - ごみをなくす循環型社会へ

リユース市の成果①



人気のある品目

- ✓ ベビーカーは人気があり、1日の中で引き取りされる事もある
- ✓ チャイルドシートも高い利用実績を示す
- ✓ 家具や家電製品など、大崎町の特性に合わせた品目も好評



外国人住民の利用

- ✓ 転入手続き中の外国人住民も見学に来て、リユース品を引き取り
- ✓ 衣料や食器などの生活用品が特に人気
- ✓ 地域生活でのスタートに最適な支援となっています



住民の満足度

- ✓ 実家整理に悩む町民のために便利なサービスを提供
- ✓ 多くの町民から好評を得ており、来場者が増加
- ✓ 社会的な支援としても行われており、生活困難者や火災等の被災者支援にも役立つ

リユース市の社会的意義

環境負荷の軽減

資源の有効活用

住民の生活支援

地域コミュニティの活性化

リユース市の成果②



生活困窮者への支援

- ✓ 生活困窮者や火災等の災害被災者への物品提供を実施
- ✓ 衣類や食器などのリユース品が需要に応じて提供される



物品提供の状況



衣類が最も数量が多い



紙袋の大量寄付も見られた



町民の寄付実績

- 🎁 定期的に物品を寄付してくれる住民が増加
- 🎁 一度に数箱の紙箱で寄付する住民も



課題と改善策

⚠ 課題



物品品質管理

破損や汚れた物品も含まれる場合があり、処理負担が増加



人気商品の早期なくなり

状態の良い物品はすぐに搬出され、継続的な物品供給が難しい



外国人住民の参加制限

仕事の関係で外国人住民が来場できない場合があり、参加機会が限られる



陳列効率

ハンガー掛けや陳列するのに時間がかかり、効率的ではない

💡 改善策



物品品質の向上

利用規則の明確化や説明を強化し、品質の高い物品のみの参加を促す



定期的な開催

年2回の開催ではなく、より頻繁にリユース市を実施し、物品の循環を促進



時間帯の拡大

休日や平日の夕方など、外国人住民にも参加しやすい時間帯を設ける



陳列方法の変更

ハンガーから直接収納箱への変更により、陳列作業の効率化を図る

● その他の課題

物品の保管場所が確保できず、残った物品の管理に苦慮している。これについても今後改善策を検討中。

今後の展開



次回予定開催

- ⌚ 開催期間: 2025年12月～2026年1月
- 📍 開催場所: 役場ロビー



継続的な実施展望

- ✓ 高い利便性をもつ活動として、引き続き実施
- ✓ 大量生産・大量消費・大量廃棄の循環に対する再資源化の具体的取り組み
- ✓ 地域住民への物品再利用の機会を継続的に提供



2023年12月

2024年8月

2025年1月

2025年8月

2025年12月-1月

初回開催

第2回

第3回

第4回

次回予定

大崎町におけるリユースの意義



環境負荷の軽減への貢献

- ✓ 大量生産・大量消費・大量廃棄を考えるきっかけ
- ✓ 物品の再利用による資源の有効活用と環境負荷の低減



法的問題の回避

- ✓ 廃棄物を無断で持ち帰ると違法だが、リユースイベントを行うことで、まだ使えるものを自由に搬入搬出することができる



定期開催による効果

- ✓ 定期的な開催により、住民の参加意識が高まります
- ✓ 役場での開催により、多くの住民が利用する機会が生まれます



地域社会の活性化

- ✓ 物品の交換により、地域の繋がりが深まります
- ✓ 社会的孤立の防止と地域活性化に寄与します

まとめ



リユースは、環境保全と地域活性化のための重要な取り組みです